



生徒が授業で学んだ内容やそのときの考えを紹介することで、生徒や保護者と学びや実態を共有しました。

デジタル・シティズンシップとは

社会に「滋賀のデジタル・シティズンシップ」を創出すること、「自律的に考えること」「自らの行動を見直す行動規範を身に付けること」を大切にしています。

技術分野の授業より① 「災害×SNS」で学ぶ注意点と有効活用

授業の流れ

1. 「インプレゾンビ」って知っていますか？
- 能登半島地震から -
2. SNSの情報の信頼性を考えよう
3. SNSで発信してよい内容か考えよう
4. 有効な使い方を知ろう

授業では、次に掲載する2と3の内容について、自分ならどのように判断するか分類した後、自他の考えを共有しました。生徒はいろいろな人の考えに触れる中で、情報の信頼性や発信するかどうかの判断について、自分の考え方を見つめ直していました。保護者の皆様はどのように考えますか？ぜひお考えください。

1. 「インプレゾンビ」とは

「インプレゾンビ」とは、SNS上で、インプレッション数(閲覧数)を伸ばすことのみを目的とする投稿およびそのような投稿を繰り返すアカウントのことを指します。インプレッション数を稼ぐために、迷惑な投稿や誤情報を投稿しているケースがあります。能登半島地震が起きた際にSNSを通じて「家族が足を挟まれて出られない」などどうその救助を要請する投稿をした人が逮捕された、というニュースも先日報じられました。

2. SNSの情報の信頼性を考えよう

設定

あなたの住む町に大型の台風が近づいてきます。あなたは家族と一緒に自宅の2階にいて、スマホで様々な情報を集めています。下の4つの情報を信頼性の高さを分類してみましょう。



11:50の情報

実際に使用した教材の一部を載せ、保護者にも具体的な学習内容をお知らせしました。
*権利の関係で加工しています

信頼性が高い

信頼性が低い

3. SNSで発信してよい内容か考えよう

設定

あなたの住む街(田山市)に大型の台風が近づいてきています。自宅の近くで被害が出始めたようです。あなたは、自分のSNS(@yama87)で災害情報を発信することにしました。下の4枚のカードの情報について、発信してもよいかどうかを考えてみましょう。

実際に使用した教材の一部を載せ、保護者にも具体的な学習内容をお知らせしました。
*権利の関係で加工しています

発信してもよい

発信してもよい
か悩む

発信しない方が

授業で学んだデジタル機器やデジタル技術の効果的な使い方をお知らせしています。

4. 有効な使い方を知ろう

出典：気象庁公式の防災情報アカウント(X) (https://x.com/JMA_bousai)

ひとりひとりに合った情報をお届け
Yahoo! 防災速報
出典：YAHOO! JAPAN 防災速報 (<https://emg.yahoo.co.jp/>)

電話で 171 災害用伝言ダイヤル

インターネットで web171 災害用伝言板
出典：NTTホームページ (<https://group.ntt.jp/disaster/service/171.html>)

【全ページ最終アクセス：2024年8月28日】

信頼できる最新の情報を確認できるアカウントや防災のためのアプリなどを紹介しました。7月の授業で紹介したのですが、台風や地震などに備えるにあたり、信頼できる情報を得る手段を知っておくことは重要です。自治体ごとに公式アカウントが開設されていることが多く、そ

生徒はこんなことを考えています。授業で生徒が感じたことや学びを紹介しています。

生徒の声

- 信頼できる情報の分類について -
 - ・公式アカウントがついているか。
 - ・いつ情報が発信されているか(日付の確認)
 - ・発信者が実際に見た内容かどうか。
 - ・そもそもSNS上の情報を信用しすぎない。
 - ・どのようなIDになっているか。
 - ・文章の書き方。
 - ・「いいね」や「シェア」の数。
 - ・投稿の話題によって受け止め方を変えている。
- 発信してもよいかどうかについて -
 - ・個人情報(名前や家の写真)が出るのはだめ。
 - ・位置情報がついた状態で送信するのはよくない。
 - ・「シェア」する場合は、情報元が確かかどうかの確認が必要。
 - ・迷惑になるような発信内容ではないか。
 - ・自分の状況を伝える程度ならいいと思う。

生徒は瞬時にアカウントや日付、「シェア」や「いいね」などの数、位置情報の有無などの情報を複合的に踏まえて判断を行っていました。日頃からSNSを利用していたり、話題にしたりしていることから、体験を通して安全に利用するための基準が生徒の中でできているのだと感じました。特に印象的であったのは、「SNSの情報はそもそも信用しすぎたはいけない」や「投稿の内容、ジャンルによって自分がどう受け止めるか変えている」という声もあったことです。